

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

| | | | | | | | | |
|---|---|--|------------|----------------|--|--------------|--------------|----------------|
| 事業名 | 薬局医療安全対策推進事業 | | | 担当部局庁 | 医薬食品局 | | | 作成責任者 |
| 事業開始年度 | 平成20年度 | 事業終了 (予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 総務課 | | | 課長 鎌田 光明 |
| 会計区分 | 一般会計 | | | 政策・施策名 | I-6-3 医薬品の適正使用を推進すること | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | - | | | 関係する計画、 通知等 | 医療安全対策検討ワーキンググループ「今後の医療安全 対策について」報告書(平成17年5月) | | | |
| 主要政策・施策 | | | | 主要経費 | その他の事項経費 | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内) | 薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、医療安全の確保を目的とする。 | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。 別添可) | 薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、その発生原因等を分析して再発防止に役立てる。 【補助率:10/10】 | | | | | | | |
| 実施方法 | 補助 | | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度要求 | | |
| | 予算 の状 況 | 当初予算 | 12 | 38 | 39 | 38 | | |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | | |
| | | 前年度から繰越し | - | - | - | - | - | |
| | | 翌年度へ繰越し | - | - | - | - | - | |
| | | 予備費等 | - | - | - | - | - | |
| | 計 | 12 | 38 | 39 | 38 | 0 | | |
| | 執行額 | 12 | 38 | 39 | | | | |
| 執行率 (%) | 100% | 100% | 100% | | | | | |
| 成果目標及び成 果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 目標最終年度 27年度 |
| | 実際にヒヤリハット事例を報 告する環境が整った(医療 安全の意識が高まった)薬 局の数を把握する | 事業参加薬局のうち報告の あった薬局数 ※26年度数字は集計中の ため、25年度実績を記入 | 成果実績 | 件数(暦年) | 798 | 661 | 661 | |
| | | | 目標値 | 件数(暦年) | 726 | 798 | 661 | 集計中 |
| | | | 達成度 | % | 110% | 83% | 100% | |
| 活動指標及び活 動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度活動見込 |
| | 本事業への参加薬局件数 ※26年度数字は集計中のため、25年度実績を記入 | 活動実績 | 参加薬局件数(暦年) | | 7,166 | 7,892 | 7,892 | |
| | | 当初見込み | 参加薬局件数 | | 6,055 | 7,166 | 7,892 | 集計中 |
| 単位当たり コスト | 算出根拠 | | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 |
| | X: 補助金執行額(千円)/ Y: 薬局ヒヤリ・ハット報告件数(件) ※26年度数字は集計中のため、25年度実績を記入 | 単位当たり コスト | 円 | | 1,899 | 4,934 | 4,934 | - |
| | | 計算式 | X / Y | | 12,196/6,423 | 38,220/7,747 | 38,220/7,747 | - |
| 平成 27・ 28 年度 予算 内訳 (単 位: 百万 円) | 費目 | 27年度当初予算 | 28年度要求 | 主な増減理由 | | | | |
| | 医療施設運営費等補助金 | 38 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 計 | 38 | 0 | | | | | |

事業所管部局による点検・改善

| 項目 | | 評価 | 評価に関する説明 | |
|----------|--|---|---|----------------|
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 本事業は、薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、医療安全の確保することを目的とし、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。 | |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 全国の薬局におけるヒヤリ・ハット事例の発生予防・再発防止を図ることを目的としている事業であり、国が実施すべき事業である。 | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 国民の保健衛生の維持向上に寄与する事業であり、優先度の高い事業である。 | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | △ | 公募により選定している。 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | 受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。 | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 本事業の参加薬局は増加しているため、コストの水準は妥当であると考えられる。 | |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | - | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | 費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。 | |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか | ○ | 実施要綱を毎年度精査して、効率的な実施に努めている。 | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか | △ | 平成25年度は前年の報告薬局数より減少しているが、この原因は平成25年7月22日から9月16日までの2ヶ月間、報告システムの改修の為システムを停止しており、報告ができなかったためである。今後も薬局において医療安全への意識が高まるように事業を進めてまいりたい。 | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 事業参加薬局数は、前年度を上回る実績となっている。 | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | 分析した収集事例等を関係機関に周知することにより、薬局におけるヒヤリ・ハット事例の再発防止に活用されている。 | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | ○ | 本事業は、薬局におけるヒヤリ・ハット事例の収集事業で、類似事業は医療機関におけるヒヤリ・ハット事例の収集事業となっており適切な役割分担となっている。 | |
| | 所管府省・部局名 | 事業番号 | | 事業名 |
| | 厚生労働省・医政局 | | | 医政局医療事故情報収集等事業 |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 本事業は20年度にシステムを構築し、21年度から運用を開始した事業であり、26年度以降も引き続き対象薬局数の拡大を予定しているところである。今後もヒヤリ・ハット事例の発生予防・再発防止を図るため、事業内容の検討を継続して行う。 | | |
| | 改善の方向性 | 限られた予算の中で対象薬局数の拡大とヒヤリ・ハット事例を全国的に共有することで、医療安全に寄与できるよう、効率的に事業を実施する。 | | |

外部有識者の所見

| |
|--|
| |
|--|

行政事業レビュー推進チームの所見

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

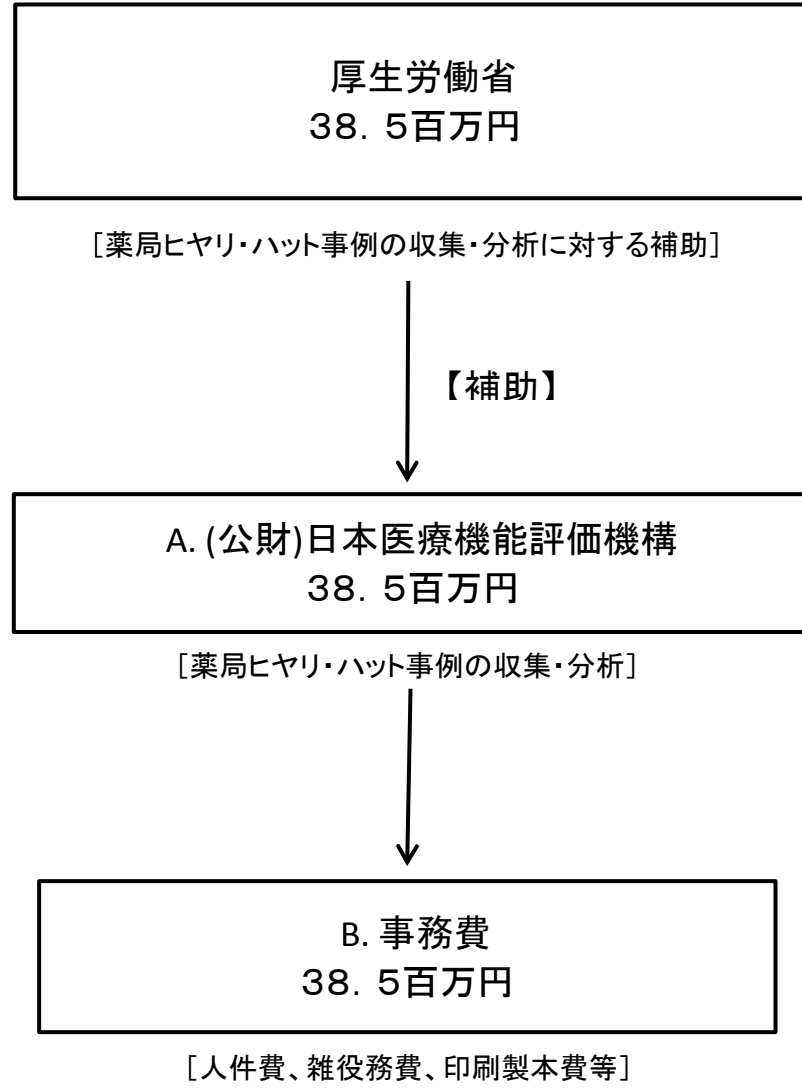
備考

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

関連する過去のレビューシートの事業番号

| | | | | | | |
|--------|-----|--------|-----|--------|-----|---|
| 平成22年度 | 221 | 平成23年度 | 198 | 平成24年度 | 167 | / |
| 平成25年度 | 194 | 平成26年度 | 208 | | | |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位: 百万
円)



費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

| A.(公財)日本医療機能評価機構 | | | B.事務費 | | |
|------------------|-------------------|-------------|-------|-------------------------------|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 補助金 | 薬局ヒヤリ・ハット事例の収集・分析 | 38.5 | 人件費 | 医師、薬剤師、派遣職員の給与 | 21 |
| | | | 雑役務費 | システム改修費、アウトソーシング費用、SE運用サポート、他 | 9 |
| | | | その他 | 事務所借料、会議費等 | 3.8 |
| | | | 印刷製本費 | 年報等の印刷 | 1.9 |
| | | | 通信運搬費 | 年報等の発送 | 1.3 |
| | | | 旅費・謝金 | 評価部会参加委員への旅費・謝金 | 1.2 |
| | | | 消耗品費 | 図書及び封筒等の購入 | 0.3 |
| 計 | | 38.5 | 計 | | 38.5 |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|----------------|-------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (公財)日本医療機能評価機構 | 薬局ヒヤリ・ハット事例の収集・分析 | 38.5 | - | - |

B

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|----------------|-------------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | 富士通(株) | システム改修、アウトソーシング、SE運用サポート、回線使用 | 6.3 | 随意契約 | - |
| 2 | テンプスタッフ(株) | 派遣職員給与 | 6.3 | 随意契約 | - |
| 3 | (株)スタッフサービス | 派遣職員給与 | 4.2 | 随意契約 | - |
| 4 | 第一資料印刷(株) | 年報・事業参加登録薬局御礼状の印刷製本及び発送 | 2.4 | 随意契約 | - |
| 5 | 学校法人東洋高等学校 | 事務所賃借、光熱水料 | 2.3 | 随意契約 | - |
| 6 | 富士テレコム(株) | ハードウェア・SPSS保守、HP(静的コンテンツ)管理 | 1.3 | 随意契約 | - |
| 7 | 東京センチュリーリース(株) | 薬局ヒヤリ・ハット収集サーバーリース | 0.8 | 随意契約 | - |
| 8 | (株)じほう | 医薬品情報更新サービスJ-SET(YJコード) | 0.4 | 随意契約 | - |
| 9 | (株)ディーブラボ | 集計報告の印刷製本及び発送 | 0.4 | 随意契約 | - |
| 10 | メディカルデータベース(株) | 医薬品一般名データ購入 | 0.4 | 随意契約 | - |